

### 後方・研修支援ネットワーク(抜粋)

- ・NPO法人NPO埼玉ネット
- ・NPO法人すぎとSOHOクラブ
- ・NPO法人国境なき楽団(つばさ号キャラバン)
- ・NPO法人フリーマーケット主催団体協議会
- ・桐生災害支援ボランティアセンター
- ・群馬県遭難対策協会
- ・NPO法人グリーンフォーレストジャパン
- ・JACIC「日本版ICS下でのクラウド型GISの実装に関する研究」研究チーム
- ・立正大学地球環境科学部環境システム学科
- ・明星大学人文学部
- ・株式会社タフ・ジャパン
- ・災害対応訓練研究所
- ・災害リスク評価研究所

## 協働型災害ボランティアセンター

主体 特定非営利活動法人NPO埼玉ネット  
市民キャビネット災害支援部会

国、地方公共団体との災害出動における包括的な協定の実現！



協働型災害訓練(図上訓練)



協働型災害訓練(実訓練)



杉戸町・富岡町・川内村  
地域間共助推進協議会

**ボランティアが活躍  
できる仕組み(人材育成)**  
リーダーとなりうるコーディネーターの育成。ボランティア一人ひとりが活躍できる場の創出。訓練の実施  
・日常的協働型災害訓練の実施

### 献身的な取り組み

を効果的に運用できるネットワークの形成。

### ICSの導入

アメリカにおいて効果が証明された標準化システム

広域的・地域間共助構築訓練にICS、DIGを導入する

### この間の活動抜粋

- ★市民航空災害支援センターによる緊急移送、情報収集
- ★災害救助犬の活用
- ★川内村復興支援
- ★首都圏への避難者支援
- ★ICT、GISの利活用



災害救助犬/ヘリコプター等による緊急出動

電波放送

衛星通信アンテナ付き  
コマンドポスト

ICT環境整備

### 整備計画

- ・本部
- ・個別団体事務局
- ・宿泊施設(長期的活動を担保する。)
- ・訓練会場(リーダーとなりうるコーディネーターの育成)
- ・放送局・無線局
- ・ヘリポート
- ・災害救助犬出動拠点
- ・ストックヤード(災害時の義援物資及び平常時における支援物資の受け入れ、及び配分。訓練実施)

## 協働型災害 ボランティアセンター

場所: 埼玉県入間郡毛呂山町地内  
敷地面積: 約3300㎡(県道沿い)

### 他の主体との連携・協働

行政(国、地方公共団体、消防自衛隊、社協等)

企業・商工団体

地縁組織(自治会、民生委員)

商店街

労働組合

生協、フードバンク

農協・漁協など



### 緊急・復興支援NPOネットワーク(抜粋)

- ・市民救助隊(CFR: 元在日米軍消防次長熊丸由布治隊長)
- ・[NPO連携]福島復興支援センター
- ・全日本救助犬団体協議会(災害救助犬、セラピー犬)
- ・市民航空災害支援センター(自家用ヘリコプターの運用)
- ・市民キャビネット災害支援部会
- ・GANBARO ↑ MIYAGI/宮城復興支援センター(被災者支援)
- ・3.11NPO+(MMIX Lab)(アートインクルージョン)
- ・被災地NGO協働センター
- ・NPO法人 ニッポン・アクティブライフ・クラブ(ナルク)
- ・一般社団法人埼玉県労働者福祉協議会(避難者支援)
- ・NPO法人日本災害救援ボランティアネットワーク(NVNAD)
- ・川内村商工会
- ・YouthFor3.11

### センター機能

- ・NPO支援センター  
情報収集、ボランティア受け入れ、救援、緊急チーム出動、炊出し部隊出動、支援物資、仕分け、広報、記録、後方支援
- ・コミュニティ活動支援ファンドの造成、資金助成
- ・人材育成・訓練(ICS、DIG、市民救助隊)  
リーダーとなりうるコーディネーターの育成。  
ボランティア一人ひとりが活躍できる場の創出。
- ・海外救援出動
- ・中間支援(被災者・避難者団体、支援団体)
- ・市民団体の防災ネットワーク形成
- ・起業支援(コミュニティカフェ、アンテナ・チャレンジショップ等)
- ・農業再生、語り部育成による観光開発
- ・相談・交流会・カウンセリング、情報収集、心のケア等の生活支援